

第1分科会 第5グループ

司会 佛教大学
発表 追手門学院大学

水谷
吉田

福岡大学
東海大学
熊本保健科学大学
明星大学
朝日ネット

諸富
西陰
水野
光武
小松

第5グループ議論テーマについて

■概要

人間力を高めるための「ポートフォリオ」の可能性について議論することを決めました

■目標

「ポートフォリオ」を活用することで、
社会人基礎力を養成することを目指します

社会人基礎力とは？

- **前に踏み出す力**
 - 主体性/働きかけ力/実行力
- **考え抜く力**
 - 課題発見力/計画力/創造力
- **チームで働く力**
 - 発信/傾聴力/柔軟性
 - 状況把握力/規律性/ストレスコントロール

上記の12項目を養成するために、ポートフォリオを「日記」に見立てて活用することを議論しました

日記の定義付け

- **絵日記**
 - 表現力/継続性/主体性/創造性 など
- **交換日記**
 - 発信/傾聴力/チームで働く、など
- **観察日記**
 - 自己分析/
- **未来日記**
 - 計画力/創造力 など

具体的に授業をデザインしてみます

■前提条件

浜名湖大学

2011年4月入学の大学生

授業は春学期に開講

同じ学部/学科の講義

※社会人からの入学生は除く

次からは実際の授業を想定してシラバスを作成してみます

授業について

■授業名

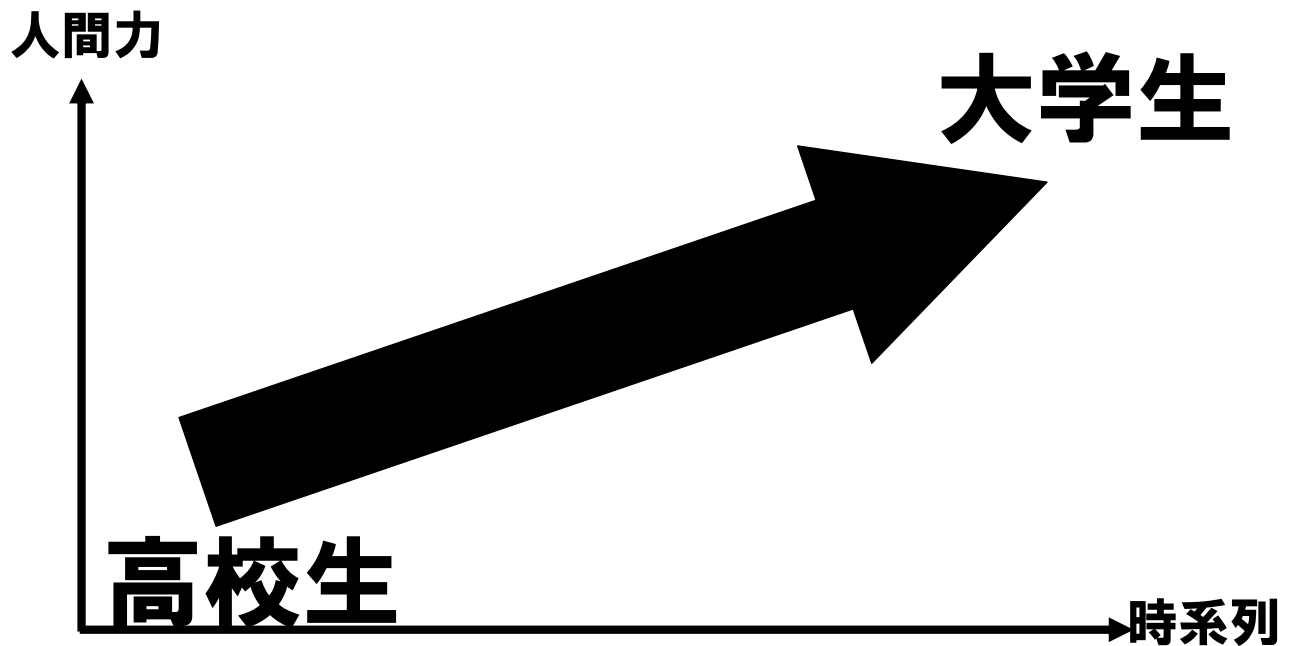
「キャンパスライフ入門」

～ ポートフォリオ活用術 ～

■狙い

- 円滑な大学生活をおくれるようにする
- グループ学習によりチームワークを学ぶ
- ポートフォリオの扱い方を身につけ、習得する
- ポートフォリオを習慣づける

全体イメージ



交換日記

絵日記

観察日記

未来日記

第1講

前に踏み出す力

考え抜く力

チームで働く力

■自己紹介

- 自己PR
 - 大学でやりたいこと
 - 大学のイメージ
 - 大学の感想
 - なぜ、大学を選んだか？
-
- 1グループ5～10名にして交換日記スタート
 - 自己紹介をみて、お互いにコメントを残させること

他者評価、見られること、コメントされること

第2講

■キャンパスライフデザイン ～目標を設定してみよう～

- 大学生活を楽しく過ごす自分を想像する
- 指定フォーマットで記入
- お互いに見られること前提

自己理解、自己分析のきっかけ作り

第3講

■キャンパス探検をしてみよう

- キャンパス探検はグループ単位で実施
- 発見したモノをデジタル画像で紹介
- 処理のサポートとしてSAが参加
- 発見したものを個々のポートフォリオに気づきとして蓄積する

SAとして先輩との関係作りを促す

第4講

■キャンパス探検の発表準備

- 3講の個人のポートフォリオを参照しあう
- 発表用の画像の選定をグループでコンペする
- 先輩(SA)の助言を受けながら発表準備
- 情報機器の扱いも習得

はじめてのチームワークを経験

第5～6講

■発表会1、2

- 発表会后、質疑応答もあり
- 自分のポートフォリオに他のグループの発表を聞いての感想をいれる

※あとで2回目の発表との対比ができるとうい

人前で話す、プレゼンテーションスキル向上

第7講

■1ヵ月先の未来日記

- これまでの振り返りと、新しい気づき
- 第1講と第2講を主に振り返る
- 評価者の教員、添削者の職員によるコメント
- 教職協働として取り組む

※書き込み内容に注目し、学習意欲の低下がみられる学生へのフォローが重要

学生カルテとしての役割も期待

第8講

■大学施設を考えてみよう

- 第一希望から、第三希望まで調査希望施設を選択
 - 施設は図書館、学食、生協、体育館、など
 - グループを再度編成
 - 各施設担当者に対してアポイントをとり、訪問
- ※余裕があれば他大学へもアポイントをとって相対比較

高いハードルへのチャレンジ(第3講と比較)

交換日記 絵日記

観察日記 未来日記

第9～10講

前に踏み出す力

考え抜く力

チームで働く力

■大学施設を考えてみよう

- 社会性、ルールを実際に体験する
- アポイントのとり方、挨拶、マナー講習など
- 次回発表の準備
- 第13講ディベートグループの発表
- ディベートの基本ルールを習得

人間力の向上を意識させる

交換日記 絵日記

観察日記 未来日記

第11～12講

前に踏み出す力

考え抜く力

チームで働く力

■発表会1、2

- 発表会后、質疑応答もあり
- 自分のポートフォリオに他のグループの発表を聞いての感想をいれる

※1回目の発表との対比し、成長を実感させる

次回のディベートを意識して聴く

交換日記 絵日記

観察日記 未来日記

第13～14講

前に踏み出す力

考え抜く力

チームで働く力

■ディベート1、2

- 発表をもとに教員がテーマを提示
- 肯定派と否定派で議論を行う
- 第14講では第13講と逆の立場で行う
- 感想はポートフォリオに保管
- SAがコーディネーターとして参加(単位認定)

状況把握力、課題解決能力の向上

交換日記 絵日記

観察日記 未来日記

第15講

前に踏み出す力

考え抜く力

チームで働く力

■自己省察 振り返り

- ポートフォリオを見直して振り返る
- 1、2回目の未来日記と比較して自己省察
- 半年の成長や変化を可視化することで実感
- 今後もポートフォリオの活用を促すためにさらに次の未来日記を作成

大人としての自覚への導き

総括

ICTの特徴を活かすことによる、人間力の向上を図った授業モデル作りを例として、ポートフォリオがデジタルアーカイブにとどまるだけでなく、中教審答申の「学士教育課程の構築に向けて」を意識した授業モデルを議論しました。

- PDCAサイクルに基づく授業モデル
- 教職協働が可能な授業モデル
- USRを意識した人材育成モデル

3日間にわたり、議論を深めることで上記の実現の可能性とポートフォリオの有用性を感じた分科会になりました。